TRUSCO®

平成 26 年 5 月 27 日

各　　位

会 社 名 トラスコ中山株式会社
代表者名 代表取締役社長　中山哲也
（コード 9830 東証一部）
問合せ先 常務取締役経営管理本部長　藪野忠久
（TEL. 03 － 3433 － 9830）

（訂正）「平成 26 年３月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の一部訂正について

当社は、平成 26 年５月９日 13 時 00 分に発表した「平成 26 年３月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」について訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、ＸＢＲＬ数値データについては、訂正はありません。

記

訂正内容（下線部は訂正箇所です）

「平成 26 年３月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」
６頁　１．経営成績・財政状態に関する分析
（２）財政状態に関する分析　②キャッシュフローの状況に関する分析

【訂正前】

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、55億２百万円の支出超過となりました。その主な要因は、新東京本社建設等、有形固定資産の取得による支出49億38百万円、新たな情報分析ツールの構築費等、無形固定資産の取得による支出６億61百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、12億88百万円の支出超過となりました。その主な要因は、前事業年度の期末配当金及び当事業年度の中間配当金12億86百万円の支払によるものです。

【訂正後】

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、55億２百万円の支出超過となりました。その主な要因は、新東京本社建設等、有形固定資産の取得による支出49億64百万円、新たな情報分析ツールの構築費等、無形固定資産の取得による支出６億43百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、12億88百万円の支出超過となりました。その主な要因は、前事業年度の期末配当金及び当事業年度の中間配当金12億84百万円の支払によるものです。

以上